

平成30年度 自己評価結果と学校関係者評価（幼稚園）

〔評価結果の表示方法〕

- A 十分達成されている
- B 達成されている
- C 取り組まれているが、成果が十分でない
- D 取り組みが不十分である

評価項目	A	B	C	D	計	理由
1 ◎保護者に伝わる発信が積極的にできたか。 ・年少の始めや行事前など、忙しい時期にも発信していく ・時期によってHPの更新に偏りがないようにする。確認をして意識して行う。 ・学期に数回、写真やコメントの掲示を行うようにする。 ・感想・意見を得て、次に活かす。	0	7	7	0	14	・フリーがない分、掲示板の写真貼り付けが滞る。 ・ブログの写真掲載は以前よりこまめに行われている。 ・行事後にはアンケートを行い、反省・改善をしている。 ・HPの更新も出来るだけしたが、回数など増やせたらと思った。 ・ブログUPの写真を撮るのを忘れないようにし、ブログ発信にも積極的に取り組むようにした。 ・HPにアップするものを決めているが、中々アップすることを忘れていたり、一気に更新したりしてしまう時がある。 ・HPの更新をできなかった週もあり、毎週更新し、保護者が様子を見れるようにするべきだった。 ・行事前など忙しい時期にHPの更新が減ってしまった。 ・写真を撮ろうと意識はしているが、加配の先生がいない時は撮るのが難しい ・HPの更新が少ないのでは、という意見を保護者からあった。 ・学年でそれぞれ声をかけ、意識していた。時期によって偏りがある時も確認し、調整してきたが、更新に遅れがあった。

学校関係者の意見

- ・行事等、写真を撮る人手が足りないのであれば、保護者からボランティアで写真係を作るなどして ipod を活用してもらいたい
- ・写真を撮っていないクラスがあってもブログ掲載してもいいと思います（撮れていないことを一言記入して）
- ・HP のブログ更新は先生方の負担にならない程度でいいと思います（毎週などではなく出来るときで）
- ・HP は去年より UP されていたと思う
- ・保護者のお手伝いに写真係を作るなどして先生の負担のならないようにしてはどうですか？
 普段の様子は現状で満足です

評価項目	A	B	C	D	計	理由
2 ◎体を動かせる遊びを伝達し合い、子ども達と一緒に取り組めたか。 ・29年度の取り組みを継続する ・保育者が色々な遊びを子ども達と一緒にし、子ども達だけで遊べるようになる ・行事前でも取り組めることを出しあい、実践する。 ・幼児の体力向上 ・研修への参加	1	11	2	0	14	・29年度の伝達が十分でないところがあった。 ・子どもの動きをよく観察し、学ぼうとする姿勢がある。 ・研修や体育指導などを通し、色々な遊びを知り、子どもにも伝えているが、それが浸透するまでに至っていない。 ・行事前でも秋のことについて子ども達と考えながら、進めていったり、リズムジャンプや縄跳びなど子ども達とした。 ・研修に参加することによって、知識を深めているが、実践する機会が少ない ・集団遊びやリングパトンを使っての遊びを取り組むことに意識した。 ・子ども達と一緒にリズムジャンプに取り組む、研修に参加したことで、遊び方や応用を伝え、実践することができた。また、子ども達が跳び方を考え、友達同士で取り組むことができた。 ・ぞうきん掛けをする回数が少し減ったように思う。 ・1クラス撮っていないとHPをアップすることができないことが難しい。 ・今年に入ってから健康チームからの伝達は少なく、なぜその遊びや準備をしているかは伝わっていないように思う。

学校関係者の意見

- ・縦割り以外でも通年他クラスや他学年へ自由に行き来して仲良く出来る環境は有難いです。

- ・ぞうきん掛け、確かに子どもから「やったよ」という報告を受けなくなったかな…
- ・何も言うことはありません。ありがとうございます。

評価項目		A	B	C	D	計	理由
3	◎子供が主体的に取り組める保育環境づくりができたか。 ・自ら発見し、夢中になって探索し遊べる環境作り ・体験したことを振り返って、興味を深め次の遊びや活動に広げていく ・環境を整えることで子どもがどう変化するのか、どのような環境があるのか各自学んだり、職員で共有していく。 ・絵画のカリキュラムの見直し。子どもの様子に合う内容を考えていく。 ・部屋の掲示、図鑑の活用 ・やってみたいと思う環境づくり ・特別支援児の共通理解	1	5	8	0	14	・絵画の見直しから、日々の保育に関しても環境や保育の進め方など考慮してきている。変えてきたことに関しての振り返りや考察を詰めていく必要がある。 ・子どもの遊び方、成長を見て玩具や環境は変えていったが、十分ではない部分もあった。 ・子ども達に主体的な行動を促すための働き掛けをすることが難しかった。“主体的”という言葉が難しい、分からないと思っている先生が多く試行錯誤している途中である。 ・少しずつ主体的に遊べるよう、取り組めるよう保育を進めたり、環境を整えたりしているが、まだ進めていく保育が多い。子ども主体になっていないことが多い。 ・自然物を使つての製作により、子ども達が自ら材料となる物を拾い集め工夫して作り上げていた。 ・動きや自由に表現することの大切さを目的とし“めたくり”を年間を通して行ってきた。 ・学年では共有していることは多いが、他学年との報告があまりできていない。 ・特別支援児に対して、成長過程を報告し合い、共有するように心掛けた。 ・各部屋でも子ども達がやってみたいと思えるような環境を整えていく必要がある。 ・幼稚園全体で学んだことを実践することが不十分だった。

学校関係者の意見

- ・小松幼稚園の子ども達の絵はのびのびして楽しんで描いた様子が浮かべれます
- ・年少からの積み重ねのお陰で年長では話し合い、先生からの言葉の投げかけで主体的な行動へとつながっているとします

※小学校にあがるとせつかくの主体性が活かされず先生からの一方的な話になるので、連携をとって一年生になっても主体性を大事に出来るよう伝えてもらえたら有難いです

- ・音楽発表会、劇発表会と今年から別の日になったので子ども達の練習の負担を感じなかったのではないのかなと思う。楽しく練習に取り組んでくれたのではないかなと思う。(年中)
- ・クラスのグループは一年中通して同じ方がいい？グループ替えていろいろな子と交流できてもいいのかなと思う(年中)
- ・カレー作りや発表会 etc ととても良かった。子ども達らしさが出ていて楽しそうだった

評価項目		A	B	C	D	計	理由
4	◎安全・防犯、防災について、計画に沿った訓練を行い、さらに知識を得ることができたか。 ・職員間の共通理解 ・臨機応変に動けるようにする ・結果や反省から色々なパターンを想定し考え取り組んでいく ・安全・防犯・防災の対策の強化	3	11	0	0	14	・子どもにも訓練時の動きが身に付いてきている。 ・前年度とは違ったパターンの訓練も入れると良い。 ・1年を通して子ども、職員共に浸透した。 ・地震があった際、移動したり避難をするのができていた。 ・訓練を事前に知らせなくても、落ち着いて参加することができていた。

学校関係者の意見

- ・幼稚園の取り組みのお陰で、去年地震があった時、机の下に隠れて静かにしていました
- ・しっかり取り組んでもらえて安心しました
- ・門番がない時間帯は施錠してインターホン対応にしてほしい